



山あいの水田

里では、田植え時季を迎えると、山からの湧き水を田に入れる準備が始まり一気に忙しくなります。

山あいの田植えでは湧き水が頼りです。水漏れを防ぐには、強固なあぜ塗り、代掻き(土と水をかきならす)作業に丁寧な仕事求められます。機械化が進み、重労働を伴う鍬や馬鍬を使ってのあぜ塗り作業は、見掛けることが少なくなりました。山あいの田を守るには強固なあぜを作り、水を確保することがおいしいお米を作る第一条件となります。



左：鍬 右：馬鍬

今年もあぜを塗る姿を見掛けることができました。あぜ塗り歴55年 久我地区の豊田清さんに伺ってみました。「作付面積は五反程。獣害対策はできても、田に水が無いことには田植えができない。水

市民記者が行く!!

かめやま見てある記

漏れの起こらないあぜを作る」と力強い言葉が聞きました。強いあぜを作るヒントを尋ねてみました。「あぜの表土を削ったとき、穴があればしっかりと踏み固めて穴埋めする」、「あぜ前に水を張り土と水をこね、土にねばりを持たせる」、「土の乾き具合の見極めも重要で、目安として半日程乾かす」、「土の量もしっかり付ける」など、多くのヒントを伺いました。また、「凹凸を丁寧に鍬で押えならす。この時は強めに押すことがポイントで、さらにもう一度押えならすと曲線美のある仕上がりになります」と笑顔で話されました。

次世代の人にあぜ塗りの技法を伝えることも大切なことかと感じました。



市民記者 松村 正さん

ハロキッズ

このコーナーでは、元気な亀山っ子の写真を募集しています。掲載を希望する人は、広報秘書グループ(☎84-5021)へご連絡ください。



兼重 陽葵
ちゃん(右)
平成28年8月4日生まれ
く(左)
ちゃん(左)
平成28年8月4日生まれ

これからも元気いっぱいあそんでね



松村 和奏
ちゃん
令和元年8月1日生まれ

笑顔いっぱい、大きくなあれ♡